



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社P R T I M E S 上場取引所 東  
コード番号 3922 URL https://prtimes.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 拓己  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 PR・HR本部長 (氏名) 三島 映拓 TEL 03-5770-7888  
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,892	18.5	958	7.6	955	7.3	634	5.6
2024年2月期中間期	3,284	16.7	890	△2.8	890	△2.7	600	4.2

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 639百万円 (6.4%) 2024年2月期中間期 601百万円 (4.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	47.23	46.74
2024年2月期中間期	44.86	44.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	7,615	6,333	83.1	470.48
2024年2月期	7,071	5,662	80.0	421.20

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 6,331百万円 2024年2月期 5,660百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年2月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,189	19.8	1,900	8.8	1,889	10.0	1,276	9.9	94.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年2月期中間期	13,479,889株	2024年2月期	13,462,249株
2025年2月期中間期	23,033株	2024年2月期	22,876株
2025年2月期中間期	13,444,201株	2024年2月期中間期	13,397,733株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、2024年10月11日(金)に当社ウェブサイトに掲載予定であります。また、同日に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)の当社グループにおきましては、「行動者発の情報  
が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションを実現するため、引き続き主力事業であるプレスリリース配信サ  
ービス「PR TIMES」の基盤強化、SaaS型ビジネス向けツールの「Jooto」及び「Tayori」の事業成長に向けた活動  
を中心に認知度向上並びに新たな顧客層の獲得を目指してまいりました。

「PR TIMES」の利用企業社数は101,286社(前年同期比16.0%増)に達し、国内上場企業のうち59.5%の企業に  
ご利用いただいております。プレスリリース件数は2024年7月に過去最高となる月間35,357件を記録しております。ま  
た、配信先媒体数は10,848媒体、メディアユーザー数は27,929名、パートナーメディア数は260媒体となり、プレ  
スリリースの月間サイト閲覧数は2023年8月に過去最高となる8,984万PVを記録しております。

タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」とカスタマーサポートツール「Tayori」は、有料利用数及び平均利  
用単価を重要指標として利用拡大及びサービス向上に取り組んでまいりました。その結果、「Jooto」の有料利用  
数は2,424社(前年同期比30.8%増)、1社あたりの平均利用単価は10,197円(前年同期比69.4%増)となり、  
「Tayori」の有料利用数は1,254アカウント(前年同期比24.9%増)、1アカウントあたりの平均利用単価は7,465  
円(前年同期比25.3%増)となりました。なお、「Jooto」は当中間連結会計期間において一部料金プランを変更  
したことにより、有料利用数及び1社あたりの平均利用単価が増加しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は3,892,014千円(前年同期比18.5%増)、営業利益は958,487千円  
(前年同期比7.6%増)、経常利益は955,266千円(前年同期比7.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は  
634,925千円(前年同期比5.6%増)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントにおける「プレスリリース配信事業」の比率が極めて高く、上記の事業全  
体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ544,467千円増加し、7,615,960千円となりま  
した。

流動資産におきましては、当中間連結会計期間末残高は、5,785,106千円と前連結会計年度末に比べ384,740千円  
の増加となりました。これは、現金及び預金の増加270,842千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加91,424千  
円が主な要因となります。

固定資産におきましては、当中間連結会計期間末残高は、1,830,854千円と前連結会計年度末に比べ159,726千円  
の増加となりました。これは、有形固定資産の増加54,438千円、無形固定資産の増加40,642千円、投資その他の資  
産の増加64,645千円が要因となります。

##### (負債の部)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ125,992千円減少し、1,282,597千円となりまし  
た。

流動負債におきましては、当中間連結会計期間末残高は、1,280,193千円と前連結会計年度末に比べ125,771千円  
の減少となりました。これは、未払法人税等の減少114,755千円が主な要因となります。

固定負債におきましては、当中間連結会計期間末残高は、2,403千円と前連結会計年度末に比べ221千円の減少と  
なりました。

##### (純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ670,459千円増加し、6,333,363千円となりま  
した。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加634,925千円が主な要因となりま  
す。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,807,635千円と前連結会計年度末に比べ270,842千円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は479,908千円(前年同期は620,042千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益955,266千円、法人税等の支払額431,435千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は208,354千円(前年同期は409,304千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出79,514千円、無形固定資産の取得による支出98,325千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は711千円(前年同期は35,155千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月11日の「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、当中間連結会計期間末において2026年2月期の業績予想は策定中ではありますが、かねてより決算説明資料等で公表のとおり、営業利益を25億円以上とする業績予想を公表する予定であります。引き続き中期経営目標「Milestone 2025」に定めている営業利益35億円を目指し、当社グループ一丸となって事業活動に取り組んでまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,536,792	4,807,635
受取手形、売掛金及び契約資産	732,112	823,536
その他	164,038	188,758
貸倒引当金	△32,578	△34,824
流動資産合計	5,400,365	5,785,106
固定資産		
有形固定資産	239,654	294,093
無形固定資産		
のれん	252,005	223,305
その他	278,113	347,456
無形固定資産合計	530,118	570,761
投資その他の資産	901,354	965,999
固定資産合計	1,671,127	1,830,854
資産合計	7,071,492	7,615,960
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,840	73,597
未払法人税等	457,672	342,917
契約負債	209,916	314,869
賞与引当金	68,097	68,158
株主優待引当金	20,090	—
その他	568,348	480,651
流動負債合計	1,405,965	1,280,193
固定負債		
その他	2,624	2,403
固定負債合計	2,624	2,403
負債合計	1,408,589	1,282,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	422,717	438,487
資本剰余金	397,717	413,487
利益剰余金	4,891,507	5,526,432
自己株式	△51,302	△51,616
株主資本合計	5,660,638	6,326,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	4,337
その他の包括利益累計額合計	—	4,337
新株予約権	1,654	1,652
非支配株主持分	610	583
純資産合計	5,662,903	6,333,363
負債純資産合計	7,071,492	7,615,960

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,284,368	3,892,014
売上原価	426,478	602,994
売上総利益	2,857,890	3,289,020
販売費及び一般管理費	1,967,252	2,330,533
営業利益	890,638	958,487
営業外収益		
受取利息	0	11
償却債権取立益	535	822
その他	267	362
営業外収益合計	802	1,196
営業外費用		
支払利息	328	245
出資金運用損	494	1,401
為替差損	—	1,218
その他	184	1,551
営業外費用合計	1,007	4,417
経常利益	890,433	955,266
税金等調整前中間純利益	890,433	955,266
法人税等	289,412	320,368
中間純利益	601,021	634,898
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	28	△26
親会社株主に帰属する中間純利益	600,992	634,925

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	601,021	634,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	4,337
その他の包括利益合計	—	4,337
中間包括利益	601,021	639,235
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	600,992	639,262
非支配株主に係る中間包括利益	28	△26

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	890,433	955,266
減価償却費	49,210	61,976
のれん償却額	12,903	28,700
出資金運用損益(△は益)	494	1,401
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,673	2,245
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,200	60
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△14,060	△20,090
受取利息及び受取配当金	△0	△11
支払利息	328	245
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△41,860	△91,424
仕入債務の増減額(△は減少)	4,539	△8,242
未払金の増減額(△は減少)	△133,015	△41,504
契約負債の増減額(△は減少)	85,883	104,953
その他	△194,486	△81,998
小計	663,897	911,578
利息及び配当金の受取額	0	11
利息の支払額	△328	△245
法人税等の支払額	△43,526	△431,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,042	479,908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,651	△79,514
無形固定資産の取得による支出	△117,841	△98,325
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△270	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	270
出資金の払込による支出	△40,000	△30,000
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△192,541	—
その他	—	△785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409,304	△208,354
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△1,295	△398
自己株式の取得による支出	△36,580	△313
新株予約権の発行による収入	1,563	—
新株予約権の行使による 自己株式の処分による収入	1,156	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,155	△711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175,582	270,842
現金及び現金同等物の期首残高	3,695,539	4,536,792
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,871,122	4,807,635

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレスリリース 配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」 関連サービス	3,131,319	—	3,131,319	—	3,131,319
ビジネス向けSaaSサービス	93,177	—	93,177	—	93,177
その他	—	59,871	59,871	—	59,871
顧客との契約から生じる収益	3,224,496	59,871	3,284,368	—	3,284,368
外部顧客への売上高	3,224,496	59,871	3,284,368	—	3,284,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,412	26,412	△26,412	—
計	3,224,496	86,283	3,310,780	△26,412	3,284,368
セグメント利益又は損失(△)	905,761	△15,123	890,638	—	890,638

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、株式会社グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「その他」の区分において244,256千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、「その他」の区分において、のれんが141,939千円増加しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレスリリース 配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」 関連サービス	3,414,819	—	3,414,819	—	3,414,819
ビジネス向けSaaSサービス	156,178	—	156,178	—	156,178
その他	—	321,017	321,017	—	321,017
顧客との契約から生じる収益	3,570,997	321,017	3,892,014	—	3,892,014
外部顧客への売上高	3,570,997	321,017	3,892,014	—	3,892,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	80,889	80,889	△80,889	—
計	3,570,997	401,906	3,972,904	△80,889	3,892,014
セグメント利益	957,525	962	958,487	—	958,487

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及びSNSマーケティング支援事業であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。